

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	6		10

前回の改善計画
・利用開始3回目までの昼礼時に初期の目標(居宅サービス計画書のニーズ)を確認する。初回3回目までに関わった職員は様子を細かくケースに記入し昼礼時の記録と合わせて情報共有し初期支援の関わりを統一する。
前回の改善計画に対する取組み結果
中々昼礼が行えず、ケースでの確認が多かった。 ケース記入したが次につなげることができなかった。(ケアの統一) 新規利用者について昼礼時に情報共有を行い、できない際は当日リーダーが情報をまとめてケースに詳細を記入。情報共有できた。 昼礼ができない時はケース参照し統一した援助を行えるよう努めたがあまり効果を得ないケースもあった。 出来る限り様子が正確に伝わるよう援助と反応を記録に残し情報共有をした。 利用開始3回目までできるだけ共有しサービス導入するようにした。 初期の目標の確認を見落としがちであった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	3		13
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	1	4	8		13
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	2	11			13
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	1	4	8		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者への声掛け、様子の変化に注意している。意識的に声掛けを行った。 初回の利用は緊張している為スタッフから声掛けしたりレクの提案を行ったりスムーズに入れるように配慮していた。 具体的にケースに記入し情報共有はできていた。初利用で不安を感じさせないように、表情など気を付けた。情報共有したことは行えている。 ご利用の様子、送迎時のご家族の様子を記録に残した。 慣れない時期のご本人・家族へのかかわりを共有し統一した援助や声掛けができるようにしていた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	慣れてくるにつれ、初期の目標が希薄になっていないか。 情報収集したことの組み立てができないまま援助に入ったこともあった。 援助内容の急な変更・家族からのその都度の依頼に対応を統一しきれなかった。 職員同士の確認の仕合ができていなかった。 新規のご利用者と継続利用されているご利用者をつなぐ声掛けが足りなかった。 個々の判断基準の微妙な違いで統一できているようでできていないところもあった。 初期の目標を見落としケアをしていた。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

目標の見直し。

昼礼の継続とケースの記入をより詳細にする。色々な考え方がある為、スタッフ間の意見交換を密にする。
職員同士の情報・意見交換を意識的に行う。

自宅での様子等、より情報収集の幅を広げる。

入浴や食事・排泄などADLが一目でわかるような様式を作成。短時間でわかりやすく統一できるようにする。

利用前、初回、3回目以降～など細かく初期の目標に対し評価を行い、望まれる援助を提供する。

初期目標の共有に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		4	5	1	10

前回の改善計画
・利用者個々の「～したい」を援助や会話の中で見つけ、記入用紙にまとめる。アクティブ活動や個別の関わりに個々の「～したい」を活かせるよう計画し、実現に近づけるように支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
出来ることノートの整理をしたり話題の中から情報を増やすようにしていた。 レクなどでしたいことやそれに代わるものを提供し楽しんで頂けるよう心掛けた。 会話の中から「～したい」を見つけることもあるが用紙の記入まで至らなかった。 記入用紙がある事で情報収集する1つのきっかけになっていた。 実現できるものは支援や援助につなげていた。 「～したい」を実現できていなかった。 「～したい」を実現できる範囲でどんなことができるのか検討出来たらよかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	8	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	9		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	10		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ミーティングを通して振り返り、次の対応に生かしていると思われる。 何気ない会話から臨機応変に対応した。しかし実現できないことが多かった。 利用者の希望は都度ケースや連絡ノートに記入した。 本人のやりたい思いを尊重しできるようサポートした。 目標の為の計画を日々評価できていた。 「～したい」の支援ができるよう聞きながらかかわるようにした。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	収集した情報が整理されていないこともあった。積極的な共有がより必要。 ご利用者の生活にかかわることは返事をすることも実現することもできなかった。 会話の中から「～したい」を見つけた後の情報共有。 「歌を歌いたい」と言われるが感染対策の為、行えていない。 目標の把握が曖昧であった。 ミーティングの中で目標について話し合う機会がなかった。 「～したい」のできる事、できない事があり計画も立てられなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

情報、ケースを見直す。会話の中から「～したい」を引き出し援助に生かす。
利用者からの希望をケースに記入するだけでなくミーティングで発信し話し合う。
気持ちを起こさせる様な声掛けや興味がわくようなもの自信につながるレクの提供。その中から個人の得意なこと苦手なことを把握し用紙にまとめる。
ミーティングの中で目標について話し合う時間を作る。
個々にしたいことが実現できるように計画を立てていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

3. 日常生活の支援

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	4		9

前回の改善計画	・職員間でのケアの統一を図る為に共有ノートを活用する。ご利用者のことを知るため「以前の暮らし」10個と「～したい」を1つのファイルまとめる。職員間で共有しアクティブ活動やコミュニケーションで活かせるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアの統一を図る為に共有ノートは活用できている。「以前の暮らし」「～したい」は共有できていないような気がする。 本人の想いを整理しながらケアにつなげるよう意識していた。 連絡ノートを活用し日常生活支援に置いては安全安楽な支援を行えた。 ケアの統一にここに努力しており、職員同士で情報交換もできていた。 アクティブ活動しながら個々の得意、不得意を見つけることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	8	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	8			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	1	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	10			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティング等で情報を共有していると、その都度ご利用者に合せた介護を行っている。 共有ノートを活用しケアの統一ができるように努めている。 生活状況や気持ちや体調等に応じ食事形態の変更・入浴方法の変更など随時対応できていた。 1人1人にあった介助は行えている。 連絡ノートの活用。そこからの情報共有はできている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方を10個以上まとめ、把握できていない。 地域社会資源を活用しきれていない。 ご利用者のことを知る為の「以前の暮らし」の情報収集。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご本人の気持ちを記録しミーティングで話し合う。 家族ともしっかりコミュニケーションを図り提案できるような関係作りをする。 「以前の暮らし」と「～したい」ファイルの活用。 回想法を取り入れまとめやすいように1人1人プリントやアンケート形式にして提供してみる。 「以前の暮らし」について情報収集しやすいように具体的は10項目を作り記入していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	1		9

前回の改善計画

- ・床屋はセンターで行っていたが、地域を活用できるように調整していく。
- ・ご利用者と近所の方との繋がりがきれいなよう職員も積極的に挨拶し会話を行う。
(ご利用者の個人情報については十分注意し、必要に応じて会話の内容について家族と検討していく)

前回の改善計画に対する取組み結果

床屋は家族が連れて行ってくれたり、ユニバーサルハイツ (AP) の方は職員で予約対応できている。
 なじみの床屋、今まで利用していた床屋へ移行したことで地域との繋がりができた。
 近隣の方への挨拶・お声掛けは行えている。会話にまでは至っていない。
 理髪はユニや一部利用者のみ利用している。
 利用者の近隣との接点があった場合は意識して声掛けに努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	7		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8	5		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	7	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	9	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

訪問の際、近隣や地域の方への挨拶を行っている。地域とのつながりを意識した。
 出来るだけ具体的にセンターでの様子をご家族に伝えている。
 花壇ボランティアさん等の活動はコロナ禍でも継続できた
 民生委員会や班長会議等、地域の会議に出席し情報収集に努めた
 ご家族へ連絡ノートにてできるだけ細かく様子を伝えた。
 普段の様子など、ご利用者との会話の中で聞き出せている。
 家でどのようにしているか、生活スタイルの情報収集を日々の会話から行っている。

できていない点 200、字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

床屋がコロナの影響で来所できないため、一部のご利用者とのかかわりが薄くなってしまっている。
 これまでの生活スタイル・人間関係の把握。
 地域行事への参加ができない状況の為、新しいやり方を検討していく必要あり。
 民生委員や必要な地域の資源が分からない、把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ワクチン接種が進んでいる為、今後床屋などの支援を改めて考える。
 センターでの様子をご家族に伝え、在宅での様子を職員へ伝えやすい関係を築いていく。
 利用者の社会面にも目を向ける。現在利用しているサービスで本当に生活を支えられているのか。
 送迎時は本人や家族の様子にもしっかり目を配る。
 ご利用者には何が必要なのかを考え資源を探す。

地域とのかかわりが途切れないようにコミュニケーションを取っていく。
大まかな町内ごとの地域資源や民生委員をわかりやすく一覧にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	6			7

前回の改善計画

- ・家族やご利用者の体調に応じて柔軟にサービス内容を変更する対応を継続。
- ・他職員の対応を学び教えてもらいながらケアの幅、柔軟性を高める。

前回の改善計画に対する取組み結果

日頃から状態観察を行い、家族や利用者の体調に応じてサービス内容の変更にも対応できている。柔軟に対応できていた。

他職員のケアの方法など情報交換し最善のケア方法を日頃から心がけていた。

他職員へ相談し「なるほど」と思うことがたくさんあった。参考にし、よりよいケアができるように努めている。

新しいスタッフが異動してきたことからお互いに良いところを活かせるようにした。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	5		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	8	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	5			11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

苦情や問題が起きた際、すぐに回覧や情報共有を行っていると思われる。

ボランティアに協力していただき共有の場の環境を整えた。

ニーズに合わせた柔軟な対応が適切に行えている。

他職員と相談しながらご利用者の状況に合わせた支援が行えている。

連絡ノートを活用し、その都度柔軟に対応した。

ミーティング等で情報交換を行い共有するよう努めた。

ご利用者の体調や状態に合わせて対応できていた。

利用者に、その時必要な援助を行えた。

統一したケアを行うよう努力していた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由をすること

共有しているが、何回も同じことが発生していることがある。

訪問内容の見直しが必要な利用者もいるのではないかな。

地域資源が何なのかを理解できていない、情報共有できていない。

サービスだけで社会資源の有効活用まではいかなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

情報の共有だけでなく、その都度職員間での相談をする。

地域資源はどのようなものがあるのかを調べ活用する。

利用者が活用している地域資源の明確化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

6. 連携・協働

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		2	5	3	9

前回の改善計画	・サービス担当者会議やサービス機関との会議等に他の職員もできるだけ参加し、他のスタッフには回覧等で伝達を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	回覧物にはしっかりと目を通した。 担当者会議へのスタッフの参加はできなかつたため、会議前に情報収集などし会議に活かした。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	6	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	4	7	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	3	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2	11	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
回覧での伝達・情報共有はできている。 センター内に地域の方が入れないが、外で休んで頂けるよう環境を整えた。 自宅での転倒などあったが医療機関との連携がそれぞれ対応されていた。 担当者会議での話をミーティング等で伝えるように努めた。 花壇ボラ等、外の活動を再開してできることはやっていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議やイベントには参加できなかった。コロナ禍の為、面会もできない。 コロナ禍の中で他者との関わりが出来なかった。 地域住民が事業所を訪れることはできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
回覧による情報伝達を継続する。 担当の利用者の会議があるときは担当者も会議へ参加できるようにする。 ワクチン接種が広まり、できることが増えたときしっかりと行動できるよう準備を整えておく。 地域住民との新たな関係の確立に努める。今まで地域の方に参加していた行事を見直し、別のやり方で参加できないか考察する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

7. 運営

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3	4		7

前回の改善計画

- ・新型コロナウイルスとの共存の中で、どのように地域と関わっていくかを考える。
- ・事業所内のアクティブ活動を再考する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ほとんど地域との関わりが出来なかった。アクティブ活動は充実し、新しいアクティブ活動が行なえた。地域のクリーン作戦等、出来る範囲で協力したりと、地域とのつながりには努めた。広報担当者による「摂田屋だより」の発行。
1人でできるアクティブ活動が新しく提案できなかった。
季節ごとにセンター内を飾る作品作りへの取り組み。
現在も新たな地域とのかかわりを考察している段階であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		8	5		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	1		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	1	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	8		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ボランティアによる美化・花壇の手入れ。
花壇ボランティアさんとのつながりがセンターとの関係保持だったり評価、意見を頂く場となった。アクティブ等、活動も工夫していた。
地域の方の身近な場所となるよう環境を整えて頂いた。(地域の方も使用できる休憩スペース)
地域の方からのご意見(草の処理)があったときはすぐに上長より対応された。
センター周囲の除草や景観保持、地域の方への挨拶などしっかりできている。
利用者などからの意見や苦情を情報共有し援助に生かしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナもあり、ボランティアが施設の中に入る機会があまりない。アクティブでは脳トレや作品作りに偏っているのではないかと。
外出等の機会も減ってしまったため、事業所内での活動ばかりになってしまった。
地域との接点が少ない状況で情報交換不足。地域の拠点である事を伝えたりする場が少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職員の人数にもよるが、体を使ったアクティブも行っていく。
地域の方が少しでもセンターに来て下さるような環境整備への取り組みを行っていく。
感染対策を十分に行いアクティブ活動の再考をさらに行っていく。
地域の方と日常的にかかわり、話しやすく相談しやすい関係作りをしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	1		9

前回の改善計画
・過去の事故報告書の内容や注意点を記載した一覧表を作成し個別ケースに挟む。職員1人1人が意識しながらケアを行い、異動してきた職員にも伝達し事故を防止する。

前回の改善計画に対する取組み結果
意識しながら行い異動してきた職員へも伝達できていた。
事故分析はミーティングにて共有したり分析し事故防止を意識した。
事故を未然に防げるよう意識しながらケアへ取り組んでいる。
報告書に必ず目を通し、当事者だけの問題とせずチームで取り組んだ。
一覧表の作成はできていなかった。以前あった事故やヒヤリを口頭で伝達していた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		5	5	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			3	9	12
③	地域連絡会に参加していますか		1	1	10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10	1		11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内の研修に参加できている。参加できない時は回覧資料の確認を行い学ぶことができた。
スタッフ1人1人はケアの質の向上の為に個別ケアにしっかり向き合っていた。
事故報告書等を確認し同様な事故の無いように注意している。
介護士向けの雑誌も適宜通読している。
リスクマネジメントの情報共有や検討を行っていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修等リモートでの参加もなかなかできない(環境的に)為、工夫が必要。
視聴研修に代替えされたが視聴する時間がなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
前回の改善計画を継続し事故防止に努める。
コロナ禍での研修への参加は困難なため各自で目標をしっかりと確認し学ぶ。
研修に参加した際、ミーティングで伝達を行い他職員の研修の場となるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年 7月 15日 (木) 17:00~18:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	8	1		10

前回の改善計画
・出来る限りスピーチロックをしないように心掛ける。スピーチロックをしてしまった時は至った経緯を振り返り、どのような対応が良かったのか話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果
スピーチロックの無いよう個々に心掛けケアを提供した。対応の工夫をしていた。 職員の層が厚くなったことで利用者への対応がすぐに行えている。 スピーチロックをしなくてもよいように環境を整え対応している。 「少しお待ちください」「マスクをしてからにしてください」など多かった。その後に話し合うことができなかった。 言葉使い等、気を付けて対応できていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしてない、または、しない取り組みをしていますか	6	6			12
② 虐待は行わない、または、行わない取り組みをしていますか	9	3			12
③ プライバシーが守られている	4	8			12
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	9			12
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	7			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待はない。 プライバシーに配慮しケアができていると思う。 鍵のかかるところ所での個人情報管理はできていた。 職員の人数が充実していることが多くすぐに援助には入れている。 個人情報の管理意識がしっかりと職員それぞれが持っていると思う。 必要時以外はミトンを外し、記録をしっかりと行い定期的に拘束の評価を行っていた。 利用者の記録類は管理をシステム化し行っていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
お互いがすぐに対応できないこともあり、その時はスピーチロックをしてしまった時もあった。 浴室・トイレでのプライバシーは緊急時や安全面を考慮し鍵をかけられていない。 同時に援助しなければならない時、スピーチロックに近いことをしていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
緊急時に落ちついて対応できるよう日頃から対応策を考える。 スピーチロックにならないように援助の手順など見直しを行う。	